

1 トビシマカンゾウ

大野亀のトビシマカンゾウの大群落（日本一の）

大佐渡の北の海に突出する亀形の大岩魂「大野亀」では、トビシマカンゾウの日本一の大群落が見られる。その群落の見事さは際立ち、サドカンゾウと名付けたいほど。佐渡ではトビシマカンゾウを「ヨーラメ」とよぶ。ヨーラメの「ヨー」は魚のこと。「ラメ」は卵をはらむこと。この花咲けば海活きかえり魚生きかえるという。この大野亀のほか、外海府海岸や真野海岸、沢崎灯台周辺などでも見ることができる。

【交通アクセス】●大野亀のトビシマカンゾウ：両津港より車で約 65 分。【時期・季節】5 月下旬～6 月中旬

2 真禅寺の鍋倉の滝～真野町の滝

鍋倉の滝、十郎滝（写真）、雄滝、雌滝

真禅寺は、文覚上人が鎌倉幕府謀反の罪で佐渡に流された際、住んだところ。荒行をしたという、きれいな水が湧く鍋倉の滝や腰掛石がある。また、真野地区には水煙を上げて竹田川の水を一気に落とす落差 15 m の十郎滝、二筋並んで豪快に落ちる落差 10m・幅 6m の雄滝と落差 6m・幅 6m の雌滝など、趣のある滝が点在している。

【交通アクセス】●鍋倉の滝：両津港より車で約 30 分。●十郎滝：両津港より車で約 35 分。●雄滝：両津港より車で約 50 分。●雌滝：両津港より車で約 50 分。

3 大棕神社の大榎

樹齢 600 年以上で村の象徴

赤泊地区を象徴する木として「榎（かや）」が指定されている。カヤの木は一位科、その材質は堅牢、緻密、耐水性が強く近年はピアノの用材として重宝されている。「社殿の正面に立ち雄大なり。樹高 20m、根元幹周 6m、胸高幹周は 4. 4m、枝張り東西（6m）、樹勢すこぶる旺盛なり。もともとは、徳和はカヤ山であった。カヤの林の中に家々があった。」と古老はいう。幕末には徳和を中心として赤泊地区では 600 石のカヤの実が採取され、村の一大産物であった。

【交通アクセス】●大棕神社の大榎：赤泊港より車で約 5 分。【イベント】徳和まつり：開催日 9 月 15 日〔8：00～19：00 頃〕 会場／徳和〔大棕神社〕 TEL 0259-87-3111（佐渡市赤泊支所地域振興課）

4 千枚田水田

標高 400m 前後の千枚田、小倉ダム

佐渡では棚田といわず千枚田という。「千枚田」といえば畑野地区・小倉の通称千枚田の「大ひらき」のことをいう。小倉大ひらきは、かなりの傾斜地である上に、水源のない天水田（てんすいでん）であった。寛文年間の 10 年間に 128 枚、5 反 8 畝が開田されたが 1 枚の広さは平均 13 坪の小さな田であった。

【交通アクセス】●千枚田：両津港から車で約 40 分。

5 加茂湖の自然

県内最大の塩水湖、野鳥、温泉群

加茂湖は明治 36 年、水害を防ぐため湖口を広げ、海とつながったかん水湖。周囲 17 k m、面積 4. 9 k m² と大きさは県内一で、越の湖とも言われた。春夏秋冬いずれの季節も風情ある景色が望め、古くから歌にも詠まれている。また、カキの養殖でも知られ、湖面に浮かぶカキ棚やカキ小屋の景色も絵になる。

【交通アクセス】●加茂湖の自然：両津港より車で約 5 分。

6 爪の沢キャンプ場

標高 500m に位置するキャンプ場

標高 500m の緑豊かな丘の上に位置するキャンプ場。周囲の山は自然の宝庫で、潮風を含んださわやかな空気の中、森の中の散策や天文観測などのアウトドアレジャーを楽しむことができる。キャンプ場にはバンガロー 8 棟、木工芸体験館、貸しテント、貸し毛布、温水シャワー 2 基、炊事施設 3 ヶ所を完備。爪の沢キャンプ場の植生として高木のコナラ・ミズナラ、中木のヤマモミジ・ソヨゴ・ハウチワカエデ、低木のオオバクロモジ・ハイイヌツゲ・エゾユズリハ・草本のオオタチツボスミレがある。

【交通アクセス】●爪の沢キャンプ場：赤泊港より車で約 20 分、または両津港より車で約 60 分。【時期・季節】4 月下旬～9 月 30 日

7 紅葉山公園

紅葉の名所、女神山・男神山

佐渡一の紅葉の名所として知られる景勝地で、女神山・男神山の南側一面に約 5 千本の紅葉がみられる。公園内は遊歩道や展望台、野外ステージなどが整備されており、男神山頂へも登頂できる。山々が赤や黄に染まる様はまさに絶景。奥へ進む紅葉と、山頂から降りてくる紅葉が重なり、約 1 ヶ月半という長い期間、秋が楽しめる。10 月最終日曜には紅葉山まつりが開催される。

【交通アクセス】●紅葉山公園：両津港より車で約 55 分。

8 川茂五所神社の神木

赤泊村指定天然記念物（樹高 30m、幹周 5.3m の川茂杉）、太郎杉公園の日本一大きな杉の切り株

佐渡市指定の天然記念物となっている、樹高 30m、幹周 5. 3m の川茂杉。また、周辺の太郎杉公園の展望台には、実際に江戸末期に切られた日本一大きいといわれる杉の切り株が保存されている。この切り株には民話「川茂の太郎杉」にまつわる伝説も残っている。

【交通アクセス】●川茂五所神社の神木：赤泊港より車で約 15 分。【イベント】御田植神事：開催日 2 月 6 日〔14：00～17：00〕 会場／下川茂〔五所神社〕 T E L 0259-87-3111（佐渡市赤泊支所地域振興課）

9 和木山の栃林

栃の原木が山奥に散在、和木川、栃の産地

和木川上流の地域は古くからの栃の産地。佐渡ではこの実をアク抜きして、ほのかな苦味と独特な香りを持った栃餅の材料としている。またこの付近にはトチノキの共有林があり、かつては村民の収入源となっていた。

【交通アクセス】●栃の巨木：両津港より車で森林基幹道石名・和木線経由約 30 分。

1 0 諏訪山・城ヶ平

国仲平野を見下ろす標高 150m の丘、佐渡一国義民殿（写真）

【諏訪山】畑野地区の集落の南側に位置する諏訪山には、国見平と呼ばれる広い平坦地があり、その名のとおり国仲平野が一望できる。【城ヶ平】小佐渡山脈の山ふところ、国仲平野を見下ろす標高 150m の丘「城ヶ平」は、真野湾・両津湾を見渡す眺望が素晴らしい。山頂には、農民一揆（いっき）を率い、打ち首にあった島民ら 26 人がまつられる「佐渡一国義民殿」がある。

【交通アクセス】●諏訪山：両津港より車で約 30 分。●城ヶ平：両津港より車で約 25 分。

1 1 法乗坊の彼岸桜

法乗坊跡地にある大木（根元周り 6.9m 樹高 21m 樹齢 250 年）、法乗坊の種蒔桜

法乗坊の跡地にあるヒガンザクラで、根元周り 6.9m、目通り周り 4.8m、樹高 21m。地上から 6～7m で 6 枝に分かれ、枝張りには東西南北ともに 26m に及ぶ大木である。花期にライトアップされた美しさは素晴らしい。

【交通アクセス】●両津港より車で約 60 分、または、小木港より車で約 15 分。【時期・季節】4 月中旬

1 2 田切須地区の照葉樹林帯

ヤブツバキの防風林（写真）、北限の赤ガシ林、椿の巨樹

真野地区・田切須にある、ヤブツバキの防風林（くね木）、北限のアカガシ林・椿の巨樹など。市指定天然記念物のヤブツバキ林、樹高 8～10m のヤブツバキ 300 余株が群生する島内一の規模の林。

【交通アクセス】●田切須地区の照葉樹林帯：両津港から車で約 50 分。または、小木港から車で約 25 分。

【時期・季節】ヤブツバキ：11 月下旬～4 月上旬

1 3 金北山

佐渡最高峰標高 1172m、美しいブナ林、頂上の金北神社、沿道に咲くカタクリ、シラネアオイ等多種類の植物。

佐渡最高峰の山。標高 1172m。もともとは北山と呼ばれていたが、1601 年に佐渡金山が発見され、初代奉行の大久保長安によって「金北山」と名づけられた。女人禁制の山で、山に登ったおばあさんを神様が蹴落としたという伝説や、実際に奉行所から「叱り置く」という罪になった人もいる。山頂付近のブナ林は見事で、海府側は強風に耐えている樹形、国仲側は真っ直ぐ伸びていて対照的。また、山頂には金北山神社があり、沿道にはカタクリ、シラネアオイ、ショウジョウバカマ、ヤマエンゴサク、サンカヨウ、エゾアジサイ、フキノトウ、タムシバ、ミズバショウなどが咲く。

【交通アクセス】●白雲台：両津港より車で約 50 分、頂上まで徒歩約 90 分。トレッキングコース多数あり。【時期・季節】●カタクリ：4 月中旬～5 月下旬●シラネアオイ：5 月上旬～6 月【インフォメーション】トレッキングコース／●石花～金北山コース ●栗ヶ沢・姫ヶ沢・横山登山口～金北山コース ●妙見山～金北山コース ●ドンデン～金北山コース

1 4 小木の海岸美

矢島・経島（写真）、海潮寺の御所桜、南仙峡、沢崎灯台、白木海岸、素浜海岸

小木地区の「矢島」は、良質の矢竹を産したところで、源頼政がヌエ退治に使った矢も、ここのものという。「経島」は文永 11 年（1274）、日蓮の赦免状をたずさえた日朗が、漂着し読経した所。浪曲「佐渡情話」の碑もある。このほか小木半島には、順徳上皇が自ら植えた桜で、一本の枝に一重と八重の花が咲く御所桜（国天然）で知られる「海潮寺」、小木海岸の中でも特に美しい、強清水から犬神平までの景勝地「南仙峡」、佐渡最南端の岬にある佐渡で一番のつばな白色八角灯台「沢崎灯台」、地元に愛されている「白木海岸」、小木半島北東部にある島内でも最長を誇る美しい砂丘海岸「素浜海岸」など、見どころが多い。

【交通アクセス】●矢島・経島～素浜海岸までの所要時間。小木港から車で約 5 分≫海潮寺の御所桜...車で約 5 分≫矢島・経島...車で約 1 分≫南仙峡...車で約 10 分≫沢崎灯台...車で約 5 分≫白木海岸...車で約 15 分≫素浜海岸【時期・季節】海潮寺の御所桜：4 月下旬～5 月上旬【インフォメーション】●たらい舟：力屋観光汽船 大人¥450（税込）小人¥300（税込）TEL0259-86-3153●矢島体験交流館：大人¥500（税込）小人¥300（税込）TEL0259-86-2992

1 5 梅津地域

羽黒山、羽黒神社、箱根清水沐浴場、真法院の苔梅（写真）

【羽黒山・羽黒神社】羽黒神社は羽黒山（五月雨山）の山腹にある、京極為兼も歌に詠んだ羽黒修験の古い神社。3 年に一度行われる祭礼では、神輿の渡御、鎌倉時代からのやぶさめの神事（県無形民俗）が伝えられている。【箱根清水沐浴場】羽黒神社の周辺にある箱根清水沐浴場の水源はドンデンにあるといわれ、どんな渇水期でも枯れたことがないと伝えられ、湧水量は佐渡一といわれている。【真法院の苔梅】真法寺の苔梅（市天然）は、順徳上皇お手植えの梅と伝えられている。木の幹を包んでいる苔の間から梅の花が咲くので、この名がつけられた。大正 7 年（1918）、羽黒山の火事で焼失したが、その古木の根元から生じたのがこの梅とされている。

【交通アクセス】●羽黒山・羽黒神社：両津港より車で約 15 分。●箱根清水沐浴場：両津港より車で約 15 分。●真法院の苔梅：両津港より車で約 10 分。

1 6 一ノ宮周辺

羽茂川、度津神社（写真）、妹背山・男山・女山、鮎漁と鮎の石焼

【羽茂川の鮎】この地域には毎年多くの鮎が溯上する佐渡島内 2 番目に長い羽茂川があり、その美しい景観とともに、焼いた石の上に特産の味噌で土手を作り、その中で獲れた鮎を焼く「鮎の石焼」は美味で有名。明治の地理学者・志賀重昂は、世界五大美味のひとつと絶賛した。【妹背山】この地域には妹背山とい

う山があり、春には桜、秋には紅葉と季節を問わず美しい景観が広がる。近くには温泉保養施設「クアテルメ佐渡」もあり、散策後も楽しめる。【度津神社】羽茂川河口から3km上ったところにある、佐渡一ノ宮として崇拝されている神社。山に抱かれるよう佇む風景は、佐渡式内社第一にふさわしい。祭神は、航海の神とされる。4月23日の例祭には、子供たちによる勇壮なやぶさめが奉納される。

【交通アクセス】●羽茂川・妹背山（男山・女山）：小木港から車で約50分。●度津神社：小木港より車で約20分。【インフォメーション】鮎漁と石焼：解禁日 8月1日、石焼：8月2日～10月末 TEL 0259-88-2106（羽茂石焼組合〈海老名宅〉）1人¥5,000～（要予約）

1.7 真野湾

越の長浜、人面岩、砂浜ビーチ、トビシマカンゾウ、スイセン等の植物群、夕日

【越の長浜】真野湾の東側に位置し、夕日が美しい海岸として有名。波が静かで風光明媚な景色が続く。

【人面岩】越の長浜に立ち、名のとおり、遠くを見つめる人間の横顔にそっくりな岩。高さ10mほど、夕映えの頃になると太陽のあたり具合で、上に乗った岩が海をじっと見つめる老漁師の顔に見えると話題になっている。また、岩場が多い真野湾の中にあって、越の長浜には砂丘のビーチが数カ所あり、絶好の海水浴場として夏は多くの海水浴客で賑わう。【トビシマカンゾウ・スイセン等の植物群】春から初夏にかけ、トビシマカンゾウやスイセンなどの群生が真野湾一帯に広がる景色は素晴らしい。背景の群青の海とのコントラストも絵心をくすぐる。

【交通アクセス】●越の長浜：両津港より車で約35分、または小木港より車で約35分。【時期・季節】●トビシマカンゾウ：5月下旬～6月中旬●スイセン：3月～4月

1.8 乙和池の浮島と植物群落

大佐渡山脈の中腹にある千古の謎を秘めた池、池中の浮島は日本の高層湿原性浮島中最大、ブナの古木、200種類のぼる植物群、乙和池まつり

乙和池は、海拔560mの大佐渡山脈の中腹、大佐渡スカイラインの太平高原のあたりから少し山を上ったところにある。ブナの林に囲まれた神秘的な池。乙和という美しい娘がこの池の主である竜神に愛され、嫁入りのため入水したという伝説が残っている。池の中の浮島は、日本の高層湿原性浮島の中で最大のもので、二百種にのぼる植物をはじめうっそうと茂るブナの古木とともに昭和38年3月、県の天然記念物に指定されている。毎年7月23日には、乙和の霊を慰めるため、「乙和池まつり」が行われている。

【交通アクセス】●乙和池の浮島と植物群落：両津港から車で約65分。【イベント】乙和池まつり：開催日 7月23日（9:00～15:30）TEL 0259-57-8123（佐和田観光協会）

1.9 七浦海岸

鹿伏から二見までの7つの集落をまたぐ10kmの海岸線、高瀬の夫婦岩（写真）、橘の長手岬、春日崎

七浦海岸は、相川地区の鹿伏から二見までの7つの集落をまたぐ10kmの海岸線。典型的な隆起海岸で、穏やかな風光の中にも珊瑚が散在していて変化に富んでいる。独特の海岸で夕日が美しい。【橘の長手岬】日本海深く突き出た岬で、ここから眺める落日の風光は素晴らしい。また、一帯は海中公園になっており、

透明な海は磯遊びに最適である。【高瀬の夫婦岩】七浦海岸高瀬にあり、七浦海岸の代表的な景勝地。仲むつまじい夫婦が語り合っているかのように、二つの岩が並んでいることから、この名がつけられた。岸辺の岩の大きな洞窟は、縄文時代の住居跡。【春日崎】日本海に突き出した春日崎からは、日本海を金色に染めて水平線へ沈む太陽を望むことができ、なだらかな芝生の岬からは相川地区の町並みも一望できる。海上守護の八大龍王がまつられた大きな石灯籠や断崖に刻まれた摩崖仏も一見の価値あり。

【交通アクセス】●長手岬～春日崎までの所要時間、車で約 10 分。両津港より車で約 60 分≫橘の長手岬...車で約 5 分≫高瀬の夫婦岩...車で約 5 分≫春日崎

2 0 佐和田海岸

真野湾に面した海岸、越の松原・雪の高浜、国際トライアスロン水泳会場、マリンスポーツ、海水浴場と窪田キャンプ場

佐和田海岸は、真野湾に面した約 4 k m の砂浜海岸で、その中の窪田～河原田の海岸が、砂の堆積が 1 m と少なくクロマツ美林でおおわれていることから「越の松原」といわれている。また、雪の高浜（現在の八幡砂丘）は、その名の通り、冬は雪の体積が最大 8 m にもなることがあり、また春から秋にかけても、チガヤの白い穂で雪のようにおおわれる海浜砂丘であることから「雪の高浜」という呼び名が付いた。また、佐和田海岸はウィンドサーフィンやジェットスキーなどのマリンスポーツが盛んで、近隣の窪田キャンプ場と併せて、夏は多くの家族連れで賑わう。近年は、毎年 9 月、佐渡全島をコースにして行われる、佐渡国際トライアスロンのスタート地点となっている。

【交通アクセス】●佐和田海岸：両津港より車で約 35 分。【時期・季節】7 月中旬～【イベント】佐渡国際トライアスロン：開催日 9 月第 1 日曜（6：00～） 会場／佐和田海水浴場〔スタート・ゴール〕 T E L 0259-52-3800（佐渡国際トライアスロン大会事務局）

2 1 ドンデン山

ドンデン池、シャクナゲやツツジの高山植物、放牧牛

一説に「ドンデン」は鈍嶺（どんでん）で頂の円い山の意味だが、タダラ峰の俗称。広大なシバ草原は、冷涼な気候と 1000 年以上の歴史を持つ放牧牛馬の喫食により形成された。また、点在するハクサンシャクナゲ、レンゲツツジ、ウラジロヨウラクなどの有害のツツジ科植物は喫食から逃れ純度を高めた。平成 16 年「新・日本百名山」に選定され、山頂付近のドンデン山荘は市民や全国からのトレッキング客の交流施設として賑わいを見せる。早春には春告げ花のユキワリソウ、春にはカタクリの大群生、初夏には日本固有の高山植物シラネアオイ等も見られる。

【交通アクセス】●ドンデン山：両津港より車で約 40 分。【時期・季節】●シャクナゲ：6 月上旬～6 月中旬●ツツジ：5 月下旬～6 月上旬【イベント】ドンデン高原春祭り：開催日 4 月下旬～5 月下旬（毎週日） 会場／ドンデン高原 T E L 0259-23-3300（両津観光協会）

2 2 経塚山・真野町放牧場

小佐渡山脈にある 633 m の高い山、順徳上皇にまつわる名前の由来

眺望の良い小佐渡エコーラインのコースにもなっている経塚山は、標高 636mの小佐渡山脈の最高峰で、大佐渡山脈や佐渡の国仲平野を望むほか、晴れた日には越後の山々まで見渡すことができる。経塚山の名の由来は、順徳天皇崩御の際に、生前読誦していたお経が後世に残ってけがされるのを恐れ、山頂で焼いて灰を埋め、塚を築いた事から来ている。また、経塚山の麓はゆるやかな斜面に緑の牧草が生い茂る放牧場になっており、初夏になるとたくさんの牛が放され、牧歌的な風情が漂う。

【交通アクセス】●経塚山・真野放牧場：両津港から車で約 50 分。

2 3 外海府海岸

尖閣湾から弾崎までの約 50kmの海岸線、大野亀、二ツ亀、大ザレの滝、岩谷口押し出岬、関岬、平根崎、小野見川溪谷、平根崎、入崎、達者海岸、揚島遊園、尖閣湾（写真）

外海府は、両津地区・弾崎から相川地区・尖閣湾までの約 50 k mの海岸線。【大野亀・二ツ亀】大野亀は海拔 167mの巨大な一枚岩でできており、初夏にはトビシマカンゾウの花が咲き乱れる。二つの亀が海上にうずくまった様に見えることから名がついた二ツ亀は、透き通った海と雄大な景観で「日本の水浴場 88 選」に選ばれている。【大ザレの滝】真更川から岩谷口へ向かって笠取峠、大ザレ溪谷と外海府の難所と言われた所に海府大橋がかかり、車で通れるようになった。この橋の下 100mあまりの断崖に海に落ち込む大瀑布がある。民宿などで船を出してもらって海上から見るしかないが、景観は素晴らしい。滝の上流には、伝説に包まれた神秘的な山居の池がある。【関岬】海府大橋を渡り、岩谷口の湾曲した海岸を過ぎると関岬がある。標高約 145mの岬先端で関岬灯台が日本海を照らしている。灯台わきには国民休暇村の関岬オートキャンプ場があり、夏にはキャンパーで賑わう。【入崎】佐渡北西部の海岸のほぼ中央に位置する地区で、200mほど突き出した、岬の南側に約 1 k mの小石の海水浴場が広がる。岬は芝が張り詰められ、そこでキャンプを楽しむことができ、海水浴・磯釣り・磯遊びなど、子供たちの自然観察にぴったりの場所である。【平根崎】海岸の巨大な岩盤に、1000 年に渡る海水の渦紋侵蝕によってできた大小無数の穴「波触甕穴群（国天然）」が見られる。数の多さでは世界有数。【尖閣湾】達者から揚島までの約 2 k mの海岸線。紺碧の海に屹立する荒削りの断崖と波濤に洗われる珊瑚のダイナミックな自然の造形美は、佐渡を代表する景観の一つ。大崎灯台へかかる遊仙橋は、映画「君の名は」の舞台にもなり、別名「真智子橋」の名がある。「日本の渚百選」にも選ばれている尖閣湾一帯は、一部海中公園に指定されており、海中透視船で岩と岩の間をすり抜けるようにして海中散歩が楽しめる。揚島遊園には海中透視船の発着場や水族館があり、夏場は観光客で賑わっている。達者海岸は、尖閣湾の一部にある透明度に優れた海水浴場で、遊覧船や透視船も出航している。浜辺ではキャンプもでき、毎年たくさんの家族連れや若者で賑わっている。達者という地名の由来は、民話「山椒太夫」で母と厨子王がこの地で再会し、お互いの達者を喜んだことからつけられたという。

【交通アクセス】●大野亀・二ツ亀～尖閣湾までの所要時間：車で約 80 分。両津港から車で約 65 分≫大野亀...車で約 20 分≫大ザレの滝...車で約 5 分≫岩谷口押し出岬...車で約 5 分≫関岬...車で約 10 分≫小野見川溪谷...車で約 5 分≫入崎...車で約 30 分≫尖閣湾（揚島遊園・達者海岸を含む）【インフォメーション】施設／●尖閣湾揚島遊園海中透視船：大人¥1, 000（税込）小人¥500（税込）TEL0259-75-2311●尖閣湾観光海中透視船：大人¥1, 000（税込）小人¥500（税込）TEL0259-75-2221

2 4 朱鷺とその生息地周辺

朱鷺の森公園（写真）、佐渡トキ保護センター、トキ資料展示館、新穂ダム、杉池、ヤブツバキ等

明治～大正にかけての乱獲によって絶滅したとされた朱鷺が、昭和に入って佐渡で生息が確認され、昭和 9 年に天然記念物に指定。昭和 35 年には国際保護鳥にも指定された。平成 11 年には、中国より朱鷺が 2 羽贈呈され、以降繁殖活動によって順調に羽数を増やしている。【トキの森公園】佐渡の穀倉地帯、豊かな自然に囲まれた新穂地区に「トキの森公園」がある。公園内には、保護センターや併設の資料展示館などがあり、佐渡の象徴である朱鷺を見ることができる。【佐渡トキ保護センター】トキの森公園内にあり、現在、中国から贈られたヤンヤン・ヨウヨウと、そのカップルから誕生した子供たち、計 48 羽の朱鷺が飼育されている。朱鷺の様子は、飼育ケージから 50m 離れた所から観察できる。【トキ資料展示館】佐渡トキ保護センターに併設され、朱鷺の繁殖に関するパネル・映像資料・剥製標本・骨格標本などが展示されている。【新穂ダム（青少年旅行村）】春の桜、秋の紅葉の名所となっている人造湖。一帯が佐渡岩の平「青少年旅行村」に指定されており、野鳥観察所・キャンプ場などの施設が整備され、家族連れで賑わっている。

【杉池】水芭蕉の群生地である杉池は、近隣の水田を潤す命の水。杉池の周辺、小佐渡山脈の分水嶺近くにある幹周り 2m ほどのコナラ、ミズナラの巨木約 300 本を主にした原生林は、県の天然記念物に指定されている。5 月に開催される杉池祭りでは、花笠踊りや小獅子舞が行われる。【ユキツバキ】雪の多い日本海側に分布する雪国植物のひとつで、佐渡では小佐渡の限られた山地にのみ見られる。

【交通アクセス】●トキの森公園（佐渡トキ保護センター、トキ資料展示館も含む）：両津港より車で約 20 分。●新穂ダム（青少年旅行村）：両津港より車で約 25 分。●杉池：両津港より車で約 30 分。【時期・季節】ユキツバキ：4 月～5 月【イベント】●新穂ダム桜まつり：開催日 4 月中旬 会場／新穂ダム TEL 0259-22-3111（佐渡市新穂支所地域振興課）●赤玉杉池まつり：開催日 5 月下旬（10:00～15:00：予定） 会場／赤玉「杉池」 TEL 0259-27-2115（佐渡市両津支所地域振興課）【インフォメーション】施設／●トキの森公園：入場料大人 ¥200（税込）小人 ¥100（税込）〈休館日 年末年始・12 月～3 月の月曜日（トキ資料展示館も含む）〉TEL 0259-22-4123●杉池キャンプ場：7 月 20 日～8 月 31 日 TEL 0259-27-2115（佐渡市両津支所地域振興課）

2 5 東海岸の名所

宇賀神社、仏崎、津神島公園、姫崎、姫崎灯台（写真） 竜王岩、赤亀岩、弁慶岩、風島弁天

新潟からのフェリーが両津港に入ると、左手に見えてくる穏やかな海岸線。見どころがたくさんある。【宇賀神社】宇賀神は穀物の神だが、いつの頃からか祭神は白蛇だといわれ、商売繁盛の神として信仰を集めている。【仏崎】海水浴と磯釣りの好適地。民宿料理も自慢。【津神島公園】絵心を楽しませてくれる、自然が造る珊瑚の公園。大川から朱塗りの橋を渡ると津神島で、小さい島ながら奇岩にかこまれ、磯釣りの好適地ともなっている。【姫崎灯台】白い六角形のノスタルジックな洋風灯台で、鉄造の灯台としては日本で最古を誇り、「世界各国の歴史的に特に重要な灯台百選」に選ばれた。文化遺産として永久保存が決まっている。【竜王岩・赤亀岩・弁天岩・風島弁天】竜王岩は順徳上皇の伝説で知られる巨岩。赤亀岩は小亀を助けるために犠牲となった親亀が、この岩になったとの言い伝えがある。弁慶岩は弁慶が運んだことがあ

るとうわさの巨岩。弁天様を祭る風島弁天は高さ 60mの巨岩で、紺碧の海に松の緑が美しく映えている。
地元では「片野尾の弁天」と呼ばれ、江ノ島・竹生島・宮島とともに四大弁財天の一つ。

【交通アクセス】●宇賀神社～風島弁天までの所要時間、車で約 25 分。両津港から車で約 15 分≫宇賀神社...車で約 5 分≫仏崎...車で約 5 分≫津神島公園...車で約 5 分≫姫崎（姫崎灯台、竜王岩を含む）...車で約 5 分≫赤亀岩・弁天岩...車で約 5 分≫風島弁天

2 6 佐渡そば

白魚そば、新そば、そば打ち体験

佐渡の手打ちそばは色が黒い田舎風で、そば粉 100%のものや、舌触りのなめらかな繁ぎそばがあり、香りが高くうまい。特に、秋の新そばは格別。魚介から取るダシ汁も抜群で、白魚をのせた「白魚そば」も美味だ。羽茂地区では恒例の「大崎そばの会」が開かれ、そば粉 100%の本格手打ちそばが体験・堪能できる。

【時期・季節】 秋季【インフォメーション】そば打ち体験／●サンライズ城が浜：1 人¥1, 050（税込）※10 名様～TEL0259-87-3215●潮津の里：1 人¥1, 200（税込）※10 名様～TEL0259-55-3311●大崎活性化センター：1 人¥1, 000（税込）※5 名様～TEL0259-88-2567●宿根本体験学習館：1 人¥1, 000（税込）※5 名様～TEL0259-86-2077

2 7 おけさ柿

さわし柿、干柿・アンボ、柿酒・柿ワイン・柿シャーベット

八珍柿を改良して「おけさ柿」と名づけたもので、甘くジューシーな佐渡の代表的な特産物。とろけるような舌触りが特徴で、ビタミンCをたっぷり含む。種がないので食べやすい。さわし柿のほかに、柿酒や柿ワイン、またシャーベットにした柿もあり、食後のデザートとしてもおいしい。

【時期・季節】 秋季【インフォメーション】おけさ柿製品：アンボ柿・干し柿・柿のしそ巻・柿の舞（お菓子）TEL0259-27-6161（JA佐渡） TEL0259-88-3131（JA羽茂）

2 8 佐渡産味噌

「佐渡味噌」は良質の水・米・大豆・塩を樽材となる杉が酵母育成に適した気候と、根気のいる佐渡人の仕事ぶりなど多くの条件があいまって豊潤な味わいの味噌が造られています。

良質の水・米・大豆・塩を、杉の樽で熟成させて作る「佐渡味噌」。酵母育成に適した気候と、粘り強い佐渡人の仕事ぶりなど、多くの条件があいまって豊潤な味わいの味噌が出来上がる。土産としても最適。

2 9 佐渡イカ

イカの一晩干し、イカの沖漬、スルメ・イカソーメン、いかイカ祭り

佐渡のイカは四季を通じて獲れるが、夏の夜の海に点々と灯る漁火は佐渡の真イカ漁を告げる風物詩。一番うまい時期は 6 月頃で、刺身はもちろん、細く切ってショウガ醤油に泳がせて食べるイカソーメンの味は格別だ。

【時期・季節】 夏季【インフォメーション】イカ一晩干し体験／●佐渡能楽の里：¥1, 000（税込）TEL0259-23-5000●姫津大橋管理運営委員会：¥700（税込）TEL0259-75-1125●尖閣湾観光：¥1, 200（税込）TEL0259-75-2221●めもと岩ドライブイン：¥840（税込）TEL0259-76-2511●矢島体験交流館：¥1, 200（税込）TEL0259-86-2992●小木ダイビングセンター：¥1, 200（税込）TEL0259-75-2221 イカ塩から作り体験／●かもこ観光センター：¥700（税込）※12 月～3 月は¥600（税込）TEL0259-23-4100●姫津大橋管理運営委員会：¥700（税込）TEL0259-75-1125

30 佐渡エビとカニ

佐渡のエビとカニは、日本海の表情が荒々しく感じる秋から冬の代表的味覚です。

佐渡のカニ・エビは、日本海の表情が荒々しく感じる秋から冬の代表的味覚。赤泊地区で揚がるベニズワイガニは茹でたてが最もおいしく、特に甲羅のミソは格別。また、南蛮エビ（甘エビ）の刺身は、トロリとした口当たりと甘さがたまらない。

【時期・季節】秋～冬季（10月～4月）

31 佐渡産牛

江戸時代にいた在来の佐渡牛は小型で鉱山での運搬や農耕用として使われましたが、現在ではおいしいブランド牛として、育てられています。

江戸時代にいた在来の佐渡牛は小型で、鉱山での運搬や農耕用として使われていたが、今は春から10月頃まで山に放牧するという習慣を続ける大佐渡の飼育農家によって、おいしいブランド牛として育てられている。

【イベント】牛市（4月2日、7月2日、11月2日）：全国でも質の高い佐渡牛の市、地元物産の市もある。会場／相川地区

32 おこし型・やせうま

花や動物などを形どった木型に桃色・緑・黄色などの色に染めた団子生地を詰めて、あんこを入れ型抜きして椿の葉の上にのせて蒸し、あたたかいうちに食べる菓子、3月のひな祭りには欠かせないお菓子

花や動物などを形どった木型に、桃・緑・黄などの色に染めた団子生地を詰めてあんこを入れ、型抜きして椿の葉に乗せ、蒸してあたたかいうちに食べる、ひな祭りには欠かせないお菓子。

【時期・季節】春季（3月）【インフォメーション】おこし型作り体験／●潮津の里：1人¥1,200（税込）TEL0259-55-3311●宿根本体験学習館：1人¥1,200（税込）TEL0259-86-2077●小木ダイビングセンター：¥1,200（税込）TEL0259-86-2368

33 佐渡の地酒

島内に江戸時代には200蔵元があったと記録されていますが現在は7蔵元あり、酒造りの島でもあります。

佐渡の地酒は、うまい米と水から生まれる日本酒で、淡麗辛口のスッキリした飲み心地が特徴。江戸時代には200もの蔵元があったという記録があるが、現在は7蔵元。「アルコール共和国」もあり、酒造りの島でもある。

【インフォメーション】TEL0259-57-2616（新潟県酒造組合佐渡支部）

34 鮎の石焼き

佐渡名産の味噌とアユを焼けた石の上で焼いて食べる野趣豊かな料理で、羽茂町の名物です

焼いた石の上に佐渡名産の味噌で土手を作り、その中で鮎を焼いて食べる野趣豊かな料理で、羽茂地区の

名物。鮎の脂と内臓のほろ苦さ、焼き味噌の香ばしさがミックスした独特の味覚である。島内の溪流では、小ぶりながらも自然に育まれた、香り豊かな天然鮎が獲れる。

【交通アクセス】羽茂川：小木港より車で約 15 分。【時期・季節】夏季（8 月 1 日が解禁日）

3 5 佐渡産海藻

モズク、ギンバ草、ワカメ、メカブ、海藻乾物

春の佐渡にうれしい香りを届けてくれるのが、日本海の荒波で育つ海藻類。モズク・ギンバ草の酢味噌和え、新ワカメの味噌汁や酢の物など、シンプルだが美味。メカブ（ワカメの根株）を刻んで味噌汁に入れたり、炊きたてごはんやそばの上にのせて食べるのも実にうまい。また、乾燥した海藻類も種類が豊富で、佐渡ならではのお土産になる。

3 6 佐渡かき

カキ、加茂湖カキまつり、佐和田カキまつり

やや小ぶりながら味の良さに定評のある佐渡のカキは、真野湾や加茂湖で育てられている。カキは、冬ならではの味覚で、殻つきのまま炭火で焼き、醤油とレモン酢で食べるのがおすすめ。この他、カキ鍋などいろいろな料理を楽しむことが出来る。

【時期・季節】冬季【イベント】●佐和田カキまつり：開催日 2 月第 1 日曜（有料） 両津港より車で 35 分。TEL0259-57-3111（佐渡市佐和田支所地域振興課）●加茂湖カキまつり：開催日 2 月中旬もしくは 3 月中旬予定（有料） 会場／湊おでんこドーム 両津港より車で約 5 分。TEL0259-23-3300（両津観光協会）

3 7 タラ沖汁

捕りたてのスケソウ鱈を生きたまま、ぶつ切りにして佐渡味噌で味付けした沖汁

とりたてのスケソウ鱈を生きたままぶつ切りにし、佐渡味噌で味付けした荒っぽい漁師料理。野趣たっぷりの、まさに王侯の味。

【時期・季節】冬季

3 8 佐渡寒鰯

佐渡の寒ブリは、冬の日本海の表情が荒々しく感じる冬の佐渡の代表的味覚です。

佐渡の寒鰯は、日本海が荒々しくなる冬の佐渡の代表的味覚。佐渡ならではの様々な料理で楽しめる。

【時期・季節】冬季【イベント】佐渡海府寒ぶり大漁祭り：開催日 12 月第 1 日曜 会場／はじき野フィールドパーク：両津港より車で約 60 分。TEL0259-23-3300（両津観光協会）

3 9 佐渡産山菜

キノコ、コゴメ、ワラビ、タラの芽、ウドなど

コゴメ・ワラビ・タラの芽・ウドなど、山菜の宝庫はよそこにもあれど、海・山・野と三拍子揃ったうまさ

を満喫できるのは佐渡ならではの。

【時期・季節】 春季

4 0 いごねり

海藻のエゴ草をトコロ天のように煮詰めて固めたものを、そばのように刻んでネギとワサビなどの薬味をつけ醤油をかけて食べる。

海藻のエゴ草をトコロテンのように煮詰めて固め、そばのように刻んでネギやワサビなどの薬味をつけ、醤油をかけて食べる「いごねり」。さっぱりとした磯の風味が楽しめる、佐渡の代表的な食品だ。

4 1 佐渡アワビ

日本海に囲まれ寒暖両流がぶつかる、岩礁の多い豊かな漁場で捕れる

岩礁が多い漁場で捕れる佐渡のアワビは、刺身で食べると美味。また他にも豊富な料理法で味わうことが出来る。

【時期・季節】 夏季（地域により禁漁期間有り）【インフォメーション】 TEL 0259-63-5230（佐渡観光協会）

4 2 佐渡にしめ

豆腐・コブ・ダイコン・ニンジン・サトイモなどを、おでん風に煮た郷土料理

佐渡の「にしめ」は、豆腐・コブ・ダイコン・ニンジン・サトイモなどを、おでん風に煮た郷土料理で、家庭的な味として全島で好まれている。

【時期・季節】 通年

4 3 佐渡産コシヒカリ

佐渡産コシヒカリは魚沼産コシヒカリと並びブランド米として非常に人気の高いお米です。

佐渡中央に広がる国仲平野は、島内最大の穀倉地帯で、良質なコシヒカリがとれる。また、山間の棚田でも作付けされており、銘柄米として一級品質の米もある。

【時期・季節】 秋季（新米）、通年。

4 4 沢根だんご

街道筋でにぎわった沢根で考案されたもので、うるち米を蒸してついた皮に甘いこしあんを包んだ一口だんご

うるち米を蒸してついた皮に、甘いこしあんを包んだ一口だんごで、口当たりも良くお茶うけに最適。

【時期・季節】 通年

4 5 あごだし

「あごだし」とは、とび魚を焼ぼしのように焼いてから乾燥させたもので、色々な料理のだしとして使わ

れるが、特に「そばつゆ」として良く使われている。

「あごだし」はトビウオを焼いてから乾燥させたもの。いろいろな料理のダシとして利用され、特に「そばつゆ」として使われる。

【時期・季節】 通年

4 6 一般建造物

住人達に息づかいが、宿根木伝統的建造物群保存地区（写真）、北條家住宅、明治記念堂

【宿根木伝統的建造物群保存地区】小木地区・宿根木は、回船業の集落として発展した「千石船と船大工の里」。入り江の狭い地形に家屋が密集する町並みは、独自の板壁の連続で、石畳の路地も当時の面影をそのまま残して貴重。国の重要伝統的建造物群保存地区に指定され、民家 2 棟が修復・公開（有料）されている。【北條家住宅】佐渡へ遠島後、相川地区で漢方医として自活の道をとった北條家の祖・道益は、赦免になると国仲に移住。代々医者として現在も子孫が続いている。建物は 18 世紀後半頃のものと思われ、越後民家に比べて木柄が細く、座敷周りも繊細、佐渡を代表する貴重な民家である（国重文）。【明治記念堂】日清戦争で戦没した佐渡出身兵士の忠魂を鎮めるために、本屋敷得勝寺の住職が義援金を集めて建てた堂宇が明治記念堂である。

【交通アクセス】●宿根木伝統的建造物群保存地区：小木港より車で 15 分。●北條家住宅：両津港より車で 25 分。●明治記念堂：両津港より車で 20 分。【インフォメーション】宿根木民家公開／清九郎の家、金子家：¥400（税込）

4 7 寺社建造物

希少性の高い、蓮華峰寺・骨堂、金堂、弘法堂、小比叡神社・本殿鳥居、拝殿等、妙宣寺・五重塔（写真）、清水寺・救世殿

【蓮華峰寺】佐渡が皇城の鬼門にあたるとして、弘法大師が開基したといわれる古刹。嵯峨天皇の勅願寺であったともいわれ、金剛寺・室生寺とともに真言の霊地。金堂は室町時代の建物で、弘法堂・骨堂とともに国の重要文化財に指定されている。7 月には境内の至るところにアジサイが一斉に開花して見事。【小比叡神社】小木地区の蓮華峰寺にある小比叡神社の石鳥居（国重文）。慶長 13 年（1608）、佐渡初代奉行大久保長安と弟安政が檀那となり、蓮華峰寺住職快有建立の刻銘がある。【妙宣寺】県内唯一の五重の塔（国重文）で知られる寺。順徳上皇に供奉した阿仏房日得とその妻千日尼開基と伝えられ、流された日蓮に驚く仕えたという。境内が城のように感じるの、かつて竹田本間氏の居城だったため。寺には、日野資朝の墓所や自筆の細字法華経（国重文）、日蓮聖人書状（国重文）が残る。

【交通アクセス】●蓮華峰寺・小比叡神社：小木港より車で約 5 分。●妙宣寺：両津港より車で約 30 分。

4 8 木食仏

信心深い島を感じる多くの、木食仏 3 点、石名清水寺（写真）、円照寺

【木食仏】木食上人が残した木彫りの仏像木食仏。木食上人（木食行道）が、天明の初めに佐渡に渡り、精力的に島内各所を廻って仏堂を再興し、仏像と書道軸を残した形跡からもわかるように、全国的にみても多くの遺跡や遺品が島内に残っている。行道が残した作品（仏像堂）では、大黒天像や地蔵菩薩像などが多い。【石名清水寺】木食弾誓の遺跡に江戸時代になって建立された。慶長のはじめ、木食弾誓が修行したという清水寺の奥の院「檀特寺」に、天明期、弾誓を慕って上がった木食行道は釈迦堂を再建した。ここに納められた薬師如来像・地蔵菩薩像や梵字版などが、現在は山下の清水寺に安置されている。【円照寺】旧円満坊（天正 17 年真光寺守家となる。）この寺にも木食行道の作った子育て地蔵が残っている。【佐渡

博物館】河原用山中観一氏蔵：像高 94 c m の柔和な笑顔をした大黒天像。肩に袋をかつぎ右手に打ち出の小槌をもち、前に福俵を立てている。野浦の山形氏蔵の小型（34 c m）大黒天像とともに優れた作品である。

【交通アクセス】●石名清水寺：両津港より車で約 100 分。●円照寺：両津港より車で約 35 分。

4 9 佐渡の博物館・資料館

個性が光る、佐渡博物館（写真）、両津郷土博物館、相川郷土博物館、金井歴史民俗資料館、新穂村歴史民俗資料館、佐渡国小木民俗博物館、赤泊郷土資料館

【佐渡博物館】佐渡の考古・民俗資料。明治農家・古代住居復元。土田麦僊美術館併設。【両津郷土博物館】漁具・生活用具・伝統行事や信仰等の民俗学的資料を展示。【相川郷土博物館】明治御料局時代の建物を利用した金山歴史資料博物館。【金井歴史民俗資料館】国仲の農耕資料・考古・歴史資料の充実した収蔵庫。

【新穂歴史民俗資料館】旧農家資料・土田麦僊・杏村資料・玉作出土品。【佐渡国小木民俗博物館】廃校を利用した博物館。民具・船大工用具等貴重な民俗資料数千点を展示。【赤泊郷土資料館】佐渡の祭りの総合展示館。

【交通アクセス】●佐渡博物館：両津港より車で 35 分。●両津郷土博物館：両津港より車で 10 分。●相川郷土博物館：両津港より車で 55 分。●金井歴史民俗資料館：両津港より車で 20 分。●新穂歴史民俗資料館：両津港より車で 15 分。●佐渡国小木民俗博物館：小木港より車で 15 分。●赤泊郷土資料館：赤泊港より徒歩 2 分、または小木港より車で約 20 分。

5 0 佐渡の遺跡

古代佐渡人の足跡が、国分寺跡、長者ヶ平遺跡、新穂玉作遺跡（写真）、小泊須恵器窯跡

【国分寺跡】天平宝字 8 年（764）に落成したと考えられる佐渡国分寺は、北陸地方では珍しい瓦葺き屋根の佐渡最古の寺院だったが、享禄 2 年（1529）の火災で消失。塔・金堂・回廊・講堂・南大門などの礎石に、壮大な伽藍の様子をしのぶしかない。【長者ヶ平遺跡】縄文前期～中期の土器が多く出土し、「火焰式土器」もある。【新穂玉作遺跡】昭和 13 年（1938）に新穂の計良由松が、国仲平野の水田地帯で弥生土器・赤玉石・碧玉製の管球などを発見。これらの遺跡が赤玉石（鉄石英）と青玉石（碧玉）を用いて細形管玉を製作する玉作遺跡であることを明らかにした。【小泊須恵器窯跡】大正初年に発見された多くの窯跡で、その規模は北陸最大とも言われている。カメ畑 2 号窯跡は県指定記念物（史跡）。

【交通アクセス】●国分寺跡：両津港より車で約 30 分。●長者ヶ平遺跡：小木港より車で約 20 分。●新穂玉作遺跡：両津港より車で約 15 分。●小泊須恵器窯跡：小木港より車で約 20 分。

5 1 近世の流人達

文化や思想を佐渡に伝えた、小倉実起・観音寺（写真）、藤波友忠・胎蔵寺

文化や思想を佐渡に伝えた近世の流人たち。【小倉実起（観音寺）】小倉実起は、自分の娘が第一皇子をもうけているのに、皇位継承させようとしない天皇に抗議したため、天和元年（1681）に父子 3 人で配流になった。実起らは流人ではあったが、生活は束縛されなかったため、奉行所の役人や山師、町人などに、

漢詩や歌を教えたりしたという。鹿伏の観音寺には、小倉大納言実起・長男宰相公蓮の墓があり、実起の特仏といわれる「銅造観音菩薩像」がある。【藤波友忠（胎蔵寺）】伊勢祭主「藤波友忠」は、夜な夜な田畑を荒らす荒馬を静めるため、胎蔵寺に絵馬を奉納し、見事に馬を静めたという。絵馬と庶民信仰の関係の深さが窺える話である。

【交通アクセス】●観音寺：両津港より車で約 55 分。●胎蔵寺：両津港より車で 65 分。

5 2 佐渡金山遺跡と相川

佐渡の栄華を象徴する、道遊の割戸（写真）、佐渡奉行所跡、時鐘通（鐘桜、京町、大工町） 大安寺

金山は佐渡をもっとも代表する史跡。【道遊の割戸】佐渡金山発見の端緒となった露天彫り跡。彫り尽くされ、山頂から麓にかけて断ち割られてしまった佐渡金山遺跡のシンボル。ゴールデン佐渡では、江戸期の抗道・資料を一般公開している。【佐渡奉行所】1601 年の佐渡金山開山に伴い、相川地区は幕府直轄の天領となって慶長 8 年に佐渡奉行所が建てられた。このほど、安政 5 年頃に建てられた奉行所を基に復元、一部一般公開をしている。【時鐘】旧裁判所の赤レンガ掘の奥に見える鐘桜、かつて大阪・京伏見の商人が店を構えた京町筋、佐渡奉行所のお抱え大工を住まわせた大工町と続く「時鐘通」も歴史を感じさせる町並みである。【大安寺】初代金山奉行の大久保石見長安の開いた寺。生前に予め自分のために冥福を祈った逆修塔が残る。

【交通アクセス】●道遊の割戸：両津港より車で約 60 分。●ゴールデン佐渡：入館料¥700（税込）年中無休、両津港より車で 60 分。TEL0259-74-2389。●佐渡奉行所：¥500（税込）両津港より車で約 60 分。（8：45～17：00、休館日 年末年始）TEL0259-74-2201。●時鐘：両津港より車で約 60 分。●大安寺：両津港より車で 60 分。

5 3 佐渡の神社(式内社)

霊験あらたか、由緒ある、度津神社、大目神社、引田部神社、物部神社（写真）、御食神社、飯持神社 大幡神社、熱串彦神社

霊験あらたかな、由緒ある佐渡の神社。醍醐天皇の命により編集され、927 年に完成した延喜式神名帳に記載された神社。（式内社は当時、地方の名社として崇拝されていたものと思われる。）佐渡には、この歴史の重みを感じさせる式内社が 9 つも存在している。

【交通アクセス】●度津神社：小木港より車で約 20 分。●大目神社：両津港より車で約 45 分。●引田部神社：両津港より車で約 40 分。●物部神社：両津港より車で約 35 分。●御食神社：両津港より車で約 30 分。●飯持神社：両津港より車で約 30 分。●越式神社：両津港より車で約 25 分。●大幡神社：両津港より車で約 65 分。●熱串彦神社：両津港より車で約 10 分。

5 4 佐渡の御堂

卓越した技術力が覗える、長谷寺・五智堂（写真）、慶宮寺・八祖堂、瓜生屋大日堂

【長谷寺・五智堂】大和の長谷寺を模したといわれる大同 2 年（807）開基の古刹。世阿弥が松ヶ崎から峠を越えて長谷寺に至ったことが、「金島書」に書かれている。参道のボタンの古木も美しく、まさに初瀬

の趣。ここには平安期の観音 3 尊（国重文）や五智堂（県有形）、三本杉、高野マキ（県天然）など、歴史の古さを語るものでいっぱいである。【慶宮寺・八祖堂】順徳上皇の皇子慶子女王とのかかわりがあったといわれる寺。見所は正徳 3 年（1713）建立の八祖堂（県有形）。内陣に八角の回転厨子があり、金輪仏頂・大日如来・八祖大師と、居ながらにしてすべて参拝できるという珍しい堂。【瓜生屋大日堂】木喰長音の作といわれる大日如来を安置する小規模仏堂。ただし、大日霊神社というれっきとした神社で、延徳 2 年（1490）建立。（県有形）

【交通アクセス】●長谷寺・五智堂：両津港より車で約 30 分。●慶宮寺・八祖堂：両津港より車で約 30 分。●瓜生屋大日堂：両津港より車で約 20 分。

5 5 西三川金山遺跡

佐渡金銀山ルーツ、西三川金山遺跡

今昔物語集に能登の砂鉄を取る者が佐渡に渡り、黄金を取って能登に戻った話が記してある。それが西三川砂金山で、佐渡最古の砂金の里であると考えられている。近世の初めには、ここ産出の砂金が上杉氏を通じて豊臣秀吉にも献上されたほどだったが、幕末頃には衰退し、明治 5 年（1872）に閉山した。また砂金山関係の資料の展示や砂金取りが出来る「佐渡西三川ゴールドパーク」がある。

【交通アクセス】●佐渡三川金山遺跡：両津港より車で約 50 分、または小木港より車で約 25 分。【インフォメーション】佐渡西三川ゴールドパーク砂金取り体験：入場料¥600（税込）

5 6 両津港

佐渡の表玄関、妙法寺、安照寺、両津カトリック教会、御番所跡・村雨の松

欄干橋を境に北の夷と南の湊、2 つの津（港）が合併して佐渡の表玄関「両津港」となった。夷港は、安政 5 年（1858）日米通商条約で開港した新潟港の補助港として、明治元年（1868）に指定された。【妙法寺】妙法寺は寛永元年（1624）、湊の番所付問屋中村氏が所有する畑を寄進し、根本寺十三世日衍を迎えて開基したもので、両津地区で日蓮宗寺院はここだけ。寺宝に、日蓮が楊枝で書いた「船中木筆の曼荼羅」、本間次佐衛門が寄進した江戸初期制作の逸品「洛中洛外図金屏風」（県有形）がある。【安照寺】大相撲佐渡ヶ嶽部屋元祖佐渡ヶ嶽猪之助の菩提寺であり位牌などが残る。【両津カトリック教会】夷湊開港後まもなく布教に訪れたフランス人が、布教の活動の中心とした教会。【御番所跡・村雨の松】海上保安所敷地内のクロマツの大木。江戸時代に番所があったため御番所の松と呼ばれていたが、尾崎紅葉が村雨の松と命名した。

【交通アクセス】●妙法寺：両津港より徒歩 5 分。●安照寺、両津カトリック教会：両津港より車で 5 分。●御番所跡・村雨の松：両津港より車で 2 分。

5 7 石造物群

隠れた佐渡の名工石工が残した、石臼塚（写真）、一里塚

佐渡の名工・石工が残した石造物群。【石臼塚】羽茂地区の小泊は、かつて真野地区・椿尾とともに石工で栄えた村。石工は、佐渡の石仏の作者としても名を馳せたが、彼らが造る石製品は他国へも移出された。

生活必需品の石臼もその一つだが、時代とともに使われなくなり、それらを集めて小泊白山神社に奉納したのがこの塚で、全国でも珍しいもの。【一里塚】一里塚にある石仏にも、佐渡の石工たちの熟練の技を感じる。

【交通アクセス】●石臼塚：小木港から車で 15 分。●一里塚：小木港より車で約 15 分。

5 8 佐渡の信仰

独特の趣をもつ、岩屋山石窟(写真)、小布勢神社

【岩屋山石窟】小木地区・宿根木集落の裏の岩山にあるこの洞窟からは、縄文土器や人骨、歯牙などが発見されている。また、洞窟の中の岩肌には、数体の仏像が浮き彫りされている磨崖仏（県史跡）があるが、彫られている年代などは、はっきりしていない。なおこの洞窟の前には、四国 88 ケ所霊場になぞらえたミニ霊場があり、88 体の石の地藏様が並んでいる。地元の人たちは昔からこの場所を「お岩やさん」とよんでいる。【昭和殿】本尊の十一面観世音菩薩をはじめ、200 体を越える仏像が所せましと安置されている。本尊は、樹齢 2000 年というヒノキの一本彫りで、身の丈 2 丈 8 尺（8m50 c m）。おそらく世界一の木造仏であろうという。【小布勢神社】現存する能舞台 30 数ヶ所のうちの一つ。古代の祭祀遺跡（祭りの場）で、子持勾玉をはじめ祭祀遺物を出土。祭神は大彦命といわれるが、本殿裏の大きな石が信仰の対象（御神体）とされている（岩座）。

【交通アクセス】●岩屋山石窟：小木港から車で約 15 分。●昭和殿：両津港から車で約 25 分。●小布勢神社：両津港から車で約 50 分、または小木港から車で約 25 分。

5 9 佐渡の仏像

平安時代の優美な輝き、国分寺・薬師如来坐像（写真）、長安寺・木造阿弥陀如来坐像

【国分寺・薬師如来坐像】仁王門を入るとまっすぐのびた参道があり、その奥に瑠璃堂がある。堂は江戸初期の寛文 6 年（1666）に建立されたもので、薬師如来（国重文）が安置されていたが、今は宝物殿に移されている。【長安寺・木造阿弥陀如来坐像】天長 8 年（831）開基と伝えられる古い寺。平安時代の木造阿弥陀如来坐像（国重文）がある。遠い昔、この地方が若狭方面と強い関係があったと思われて興味深い。

【交通アクセス】●国分寺・薬師如来坐像：両津港より車で約 30 分。●長安寺・木造阿弥陀如来坐像：両津港より車で約 15 分。

6 0 城 跡

佐渡の群雄割拠を伝える、羽茂城跡（写真） 青木・新穂城跡

佐渡の群雄割拠を伝える城跡。【羽茂城跡】南佐渡最大の河港とこの地域一円を支配した、名族羽茂本間氏を城主とする「羽茂城」の跡。天険をうまく利用して区画した城構えを感じさせる。上杉景勝の佐渡攻撃の時落城した戦国時代末期の山城で、数百年前の羽茂地区の歴史跡が残る貴重な文化財である。【青木・新穂城跡】新穂地区で村殿と呼ばれていた小領主が分立、この地方の豪族の邸宅として作られたと思われる「青木城跡」・「新穂城跡」がある。いずれも特徴は県下でも珍しい、土地を水堀が囲んでいるところにある。春の桜と夏のハスの花が素晴らしい。ハス祭りも行われる。

【交通アクセス】●羽茂城跡：小木港より車で約 15 分。●青木・新穂城跡：両津港より車で約 15 分。

6 1 銅 鐘

珍しく貴重な 2 つの、長安寺・朝鮮鐘（写真）、神宮寺・銅鐘

【長安寺・朝鮮鐘】長安寺には、若狭（福井県）の海中から拾い上げられたものが寄進されたと伝わる、通称「朝鮮鐘」（国重文）がある。朝鮮鐘は口径 60 c m、厚さ 16 c m、龍頭 1 個、周縁の唐草模様は繊細。国の重要文化財。【神宮寺・銅鐘】永仁 3 年（1295）の銘をもつ、高さ 83 c m の銅鐘（国重文）。鎌倉時代末期、国守北條宣時の武運を祈り、羽黒神社に奉納され、後に神宮寺に寄進された。

【交通アクセス】●長安寺・朝鮮鐘：両津港より車で約 15 分。●神宮寺・銅鐘：両津港より車で約 20 分。

6 2 中世の流人達

文化や思想を佐渡に伝えた、日蓮上人・根本寺（写真）、妙照寺、本行寺、真浦港、順徳上皇・真野宮、真野御陵、黒木御所、世阿弥・正法寺、松ヶ崎

文化や思想を佐渡に伝えた流人たち。【日蓮上人】「立正安国論」が鎌倉幕府の怒りに触れ、文永 8 年（1271）に配流。在島 2 年 5 ヶ月で赦免、鎌倉に帰京。塚原の三昧堂（根本寺）で「開目抄」を著して自らの立場を明らかにし、一谷入道邸（妙照寺）に移されてからは「観心本尊抄」を著して、日蓮の主義・思想を結実させた。【根本寺】日蓮が他宗の僧と「塚原門答」を戦わせ、「開目抄」を著わした三昧堂の地に、慶長 12 年（1607）、金山の山師・備前遊白が祖師堂を建立したことに始まり、山師・味方但馬が大寄進して出来た寺。【妙照寺】配流となった日蓮が、在島の大部分を過ごした寺。有名な「観心本尊抄」や「十界曼陀羅」を著し、教義を確立した霊跡である。【本行寺】佐渡に着いた日蓮が 3 日 3 夜過ごした草庵の跡といわれ、近くに伝説の遺跡「おけやき」がある。【波題目碑】日蓮が赦免された文永 11 年（1274）の 3 月、佐渡を去るべく真浦で最後の夢をむすんだ。翌朝、朝日に向かって合掌すると、海上の波間に「南無妙法蓮華經」の七文字が浮かび現れ、これを「波題目」として流布される霊園。一説では、国仲より峠越えて真浦の津に着き、海岸近くの岩窟で夜を明かし、地元民の世話で船出したと伝えられる。【順徳上皇】承久の変（1221）で鎌倉幕府の転覆に失敗し、24 歳の若さで配流、在島 22 年。ついに帰京の願いはかなわず、46 歳の時に断食して果てたと伝えられている。順徳上皇を火葬にした真野御陵や上皇の仮宮だった黒木御所跡などの遺跡、伝説なども数多く残る。【真野宮・真野御陵】正式には、火葬塚。順徳上皇は都に帰ることなく島で果て、火葬された後、従者に抱かれて淋しく都に帰ってゆかれた。近くの真野宮は、順徳上皇をまつた神社。【真野宮・真野御陵】正式には、火葬塚。順徳上皇は都に帰ることなく島で果て、火葬された後、従者に抱かれて淋しく都に帰ってゆかれた。近くの真野宮は、順徳上皇をまつた神社。【黒木御所跡】順徳上皇の仮宮跡といわれ、皮つきのままの丸木で造られた粗末な宮であったところから、黒木御所とよばれたという。【世阿弥】「花伝書」で知られる能楽の大成者。將軍・足利義政のゆえなき怒りで配流されたのは、永享 6 年（1434）世阿弥が 72 歳の時。許されて都へ帰ったかどうかは不明。在島中に、娘婿の禅竹に贈った手紙（奈良宝山寺）の碑が、佐渡博物館前に建っている。【正法寺】世阿弥の最初の配所万福時から移された寺と伝えられ、境内の大老木の根元に腰掛石が残っている。【松ヶ崎】松ヶ崎は上古から近世まで、越後と佐渡を結ぶ重要な港だった。世阿弥もこの地に配流され、松ヶ崎から峠を越え

て長谷寺に至った。

【交通アクセス】●根本寺：両津港より車で約 20 分。●妙照寺：両津港より車で約 35 分。●本行寺：小木港より車で約 45 分。●波題目碑：赤泊港より車で約 5 分。●真野宮・真野御陵：両津港より車で 30 分。●真野宮・真野御陵：両津港より車で 30 分。●正法寺：両津港より車で約 25 分。●松ヶ崎：小木港より車で約 45 分。【インフォメーション】根本寺：拝観料 ¥300（税込）

6 3 佐渡の能(演能を行う能舞台)

庶民の生活に深く浸透する、本間家能舞台、原黒諏訪神社、潟端諏訪神社、潟上牛尾神社（写真）、新徳武井神社、金井原黒神社、竹田大膳神社、草刈神社、二宮神社

【本間家能舞台】佐渡能の宗家である本間家の能舞台（県有形民俗）。明治 18 年（1885）の建造といわれ、数多い佐渡の舞台の中でも本格派。床下に瓶を埋め、音響効果に工夫が凝らされている。毎年 7 月の最終日曜には定例能が催される。【椎崎諏訪神社】佐渡には中世の能面も残っており、江戸時代には能がいつそう広まった。現在も 30 以上の独立能舞台が残っており、椎崎諏訪神社ほか、7 棟が県の有形民俗文化財に指定されている。【潟上牛尾神社】潟上の天王さんと呼ばれる神社で、拝殿の彫刻が見事。鬱蒼とした境内に能舞台があり、6 月には薪能が舞われる。国仲四所の御能場の一つだった由緒ある舞台（県有形民俗）で、歎進能を催したときに寄進されたと思われる素晴らしい翁の面（県有形）がある。【武井熊野神社】杉林の中の神社。舞台は明治 2 年に建てられたもので、建築物としても素晴らしい。見どころは墓股（かえるまた）で、板ながら形が良く、彫られている文字も美しい。（県有形民俗）【安養寺羽黒神社】現在は山の中腹といった所に建っているが以前は上の社殿と向かいあっていたという。それを明治 42 年に現在地に移築した。この舞台も絵になる。3 間に 2 間の小さな舞台だが橋掛りもあり楽屋もある。緑の芝生と茅葺の屋根のコメンラストが心地よい。絵にしたい風景。（県有形民俗）【竹田大膳神社】かつて国仲四所の御能場の 1 つで、茅葺屋根の能舞台があり、幽玄な薪能が例年行われている。この能舞台は佐渡を代表する 1 つで、気品のある美しさは、周囲の木々と芝生の緑と相まって、建物だけの鑑賞にも十分堪える。

（県有形民俗）【草刈神社】古く草刈村といわれた字天沢にあり、江戸中期頃は八王子牛頭天王、羽茂祇園社などといわれ、この郷の農業の神とされている。応永 3 年（1396）の墨書のある獅子頭があり、地頭寄進で大神楽つぶろさしの最初の獅子だとも言われる。能舞台は古く、かぶき屋根が美しい。（県有形民俗）

【二宮神社】順徳上皇の第二皇女（忠子姫）が 18 歳で亡くなられた折、守屋勇四郎春虎が遺髪を霊としてまつたが、後深草帝の時代に二宮大明神として社殿が築かれたといわれる。菖蒲殿と能舞台がある。

【交通アクセス】●本間家能舞台：両津港より車で約 10 分。●椎崎諏訪神社：両津港より車で約 5 分。●潟上牛尾神社：両津港より車で約 10 分。●安養寺羽黒神社：両津港より車で約 20 分。●竹田大膳神社：両津港より車で約 30 分。●草刈神社：小木港より車で約 20 分。●二宮神社：両津港より車で約 35 分。

6 4 佐渡七福神めぐり(七福神)

島内の幸運招福を祈る、称光寺、大蓮寺、禅長寺 智光坊、世尊寺、慶宮寺、清水寺

【称光寺・渡海弁財天】小木地区・宿根木集落の奥、大願寺（真野地区）と同じ時宗布教道場だったところ。南浜の巖上に渡海弁財天を安置し、水難除けの守護神、技芸上達の福神として、古くから信仰されて

いる。境内には精密な世界地図を作成したことで知られる幕末の蘭学者で、この地出身の柴田収蔵の墓がある。【大蓮寺・天沢布袋尊】羽茂城主・本間氏の菩提寺。五百羅漢が見もの。布袋尊画像は、佐渡七福神の一つ。秘仏のマリア観音は木造観音像の体内仏として有名。また、山門は上杉景勝によって落城した羽茂城（県史跡）の東門をそのまま移築したもので、室町時代のものである。【禅長寺・京極毘沙門天】京極為兼が佐渡に流された時、往復の旅宿であったといわれる寺。為兼がこの寺での祈願で帰京できたことから、帰京観音の名で信仰される仏像や佐渡七福神の一つ京極毘沙門天図が安置されている。【智光坊・倉崎恵比須天】江戸初期成立の寺と考えられ、天保4年（1833）村山の高野甚右衛門良春の手により再建されたもの。山門と本堂左手の金刀毘羅堂の彫刻は手が込んでいる。唐門の浮き彫りに見られる恵比須天は、払鬼招福、とりわけ豊漁と海上安全守護の神として広く親しまれている。【世尊寺・渋手大黒】日興上人開山の寺といわれ、瀟洒な山門や長屋門、そして庭園が美しい。日興上人は日蓮聖人在島中、そばを離れず法華經の布教に携わった人。日蓮筆といわれる寺宝の大黒天画像一軸は、招福繁栄、正法護持を祈念したものと伝えられている。【慶宮寺・神護福祿寿】順徳上皇の皇子慶子女王とのかかわりがあったといわれる寺。慶子女王は三宝への敬いも篤く、池蔵人清範作の福祿寿尊天を特に念持された。【清水寺・善哉寿老人】大同3年（808）覧応法師が京都からの布教の折、京都の清水寺を模して建立したといわれる寺。本尊は千手観世音菩薩で、併せて延命善哉寿老尊天を福寿の神としてまつ。救世殿はまさに「清水の舞台」を彷彿とさせる。

【交通アクセス】●称光寺：小木港より車で15分。●大蓮寺：小木港より車で10分。●禅長寺：赤泊港より車で約5分。●智光坊：両津港より車で約45分。●世尊寺：両津港より車で30分。●慶宮寺：両津港より車で30分。●清水寺：両津港より車で20分。

6 5 相川街道

金山の歴史を支えた、一里塚、小木港、東光寺、赤泊港、梨の木地藏（写真）、キリシタン塚

金山の歴史を支えた相川街道。【一里塚】相川街道には、佐渡の金を送り、奉行や役人、水替無宿の唐丸籠が通った道。小木道中に道標「一里塚」がある。【小木港】明治の初めまでは佐渡の表玄関。佐渡金山の積出港として開け、さらには北前船の寄港地として繁栄した。そんな雰囲気に残る街だが、今も直江津港からのフェリーが就航する佐渡の南玄関口として重視されている。【東光寺】団三郎ムジナの四天王・徳和の禅達がいたという寺で、新住職が入山すると好んで禅門答をしかけ、答えが拙いと寺を追出したという伝説が残る。境内には禅達が住んでいたという岩屋が今もある。【赤泊港】江戸時代中期から越後との最短航路として賑わった港で、今も寺泊との間にフェリーが定期運航。【梨の木地藏】真野地区から赤泊地区へ抜ける梨の木峠に、小さな石地藏に囲まれた地藏堂がある。地藏菩薩は子供の病氣平癒をかなえてくれる仏で、願いかなった親たちが礼に身代わり地藏を持参し、今や何万何千という石地藏が溢れるように並んでいる。縁日は8月24日。他に類を見ない地藏信仰の風景と言っている。【キリシタン塚】島原の乱が起こった寛永年間（1624～43）、佐渡でもキリシタン狩りによって多くの信者が捕らわれ、中山峠の旧道脇の竹林の中で処刑された。十字架が立つ墓地には、そのとき殉教した人たちが葬られている。

【交通アクセス】●一里塚：小木港より車で約15分。●東光寺：小木港より車で30分・赤泊港より車で約10分。●梨の木地藏：両津港より車で約40分。●キリシタン塚：両津港より車で約50分。

6 6 伝統工芸 竹細工

佐渡で古くから盛んな竹細工。竹で作られた竹箆やざるは、日常用品としてだけでなく、工芸品として注目されている。

佐渡は昔から竹の産地として知られ、竹細工が盛んである。そのルーツは古く、金井の千種遺跡の弥生期の出土品から竹ザルが発見され、また寛政年間には竹の民具が大量に島外へ出荷されていた。小さなアクセサリ、工芸品・日常用品としての美しさを秘めた竹籠や竹ザルは、優れた民芸品として注目されている。

【インフォメーション】竹細工体験／●ふすべ村・体験実習館：¥1,200（税込）TEL0259-88-3616●矢島体験交流館：¥1,000（税込）TEL0259-86-2992●宿根木体験学習館：¥1,000（税込）TEL0259-86-2077 竹とんぼ作り／●佐渡能楽の里：¥1,000（税込）TEL0259-23-5000●小木ダイビングセンター：¥1,260（税込）TEL0259-86-2368 竹とんぼ水鉄砲作り／●潮津の里：¥1,000（税込）TEL0259-55-3311

6 7 裂き織り

使い古した木綿を裂いて織った布を使った民芸品。（手作りのバッグや、テーブルクロス）

使い古した木綿を裂いて織る「裂き織り」は、縦糸にフジやシナなどの植物の皮からとった繊維を使い、横糸には古木綿が使われている。丈夫で雨や風を通しにくいと、かつては仕事着などに愛用されていた。近年のブームで、手作りのバッグやテーブルクロスなど、多彩な民芸品として復活している。

【インフォメーション】裂き織り体験教室／●技能伝承展示館：1人¥2,400（税込）～ 両津港より車で約60分。TEL0259-74-4313●サンライズ城が浜：1人¥1,050（税込）※10～20名様・2時間 赤泊港より車で約5分。TEL0259-87-3215●ふすべ村：1人¥1,500（税込）～ 小木港より車で20分。TEL0259-88-3616

6 8 弧蓬遠州流生花

古くよりこの地に伝わる生花で、明治中頃に羽茂本郷より南佐渡に広まった。昭和50年2月、羽茂町無形文化財に指定。

「弧蓬遠州流生花」は、古くからこの地に伝わる生花で、佐渡へ伝えたのは小木地区・小比叡の佐々木元秀という人物であったとのこと。弧蓬遠州流の隆盛は明治の中頃、千松斎宗林一技居士を中心に羽茂本郷により南佐渡に広まった。一技亡き後、中心を失った流派は衰退をたどったが、この地に伝承された弧蓬遠州流が廃れることを惜しみ、昭和50年2月、佐渡市指定無形文化財に指定された。これからも残していきたい文化である。

6 9 白山丸

小木町の宿根木部落を中心に、江戸時代より約150年活躍していた千石船を忠実に復元させたもの。

佐渡国小木民俗博物館に併設した千石船展示館には、日本初の完全復元千石船「白山丸」を公開展示している。この船は、安政5年（1853）に宿根木で建造された「幸栄丸」を当時の板図（設計図）をもとに忠実に実物大に復元したもので、地元の白山神社にちなんで「白山丸」と名付けた。全長23.75m最大幅7.

24mで、帆は 21 反、畳 160 枚分もの大きさである。

【交通アクセス】●佐渡小木民俗博物館：〔千石船展示館〕（8：30～17：00、休館日 年末年始のみ）：入場料¥500（税込）小木港より車で約 15 分。TEL0259-86-2604

7 0 オカリナ工房

陶芸家池田修二氏の工房で、佐渡の象徴と言える朱鷺の形をしたオカリナを製作。

佐渡の象徴といえる「朱鷺」の形をしたオカリナを製作している、陶芸家・池田修二氏によるオカリナ工房。佐和田地区・中原に城南窯を構え、オカリナの製作や吹き方などの指導を行っている。子供の頃に出逢った野生の朱鷺に魅せられたことが、この作品を作るきっかけだという。佐渡の新しい工芸美術である。

【交通アクセス】●オカリナ工房：両津港より車で約 30 分。

7 1 蝋型鑄金

溶解した金属を鑄型に流し、鑄型が構成している空間通りの形態を得る方法で、鑄型原型を蝋で作るのが蝋型鑄金という技術である。

鑄金とは、溶解した金属を鑄型に流し込み、鑄型が構成する空間どおりの形態を得る方法で、その鑄型原型を蝋で作るのが「蝋型鑄金」である。佐和田地区・沢根を中心に本間琢斉系・宮田藍堂系・真藤半五郎系に分かれて、技術が継承されてきた。なかでも藍堂系・佐々木象堂は、昭和 35 年に重要無形文化財蝋型鑄金技術保有者（人間国宝）に認定。佐渡歴史伝説館には、佐々木象堂記念館があり作品が展示されている。佐渡鑄金技術も、昭和 53 年に新潟県無形文化財工芸技術として指定された。蝋型鑄金は、佐渡を代表する伝統工芸である。

【インフォメーション】施設／佐渡歴史伝説館（年中無休）：入館料¥700（税込）両津港より車で約 30 分 TEL0259-55-2525

7 2 能面・人形首 10 体

佐渡を代表する、芸能には能舞台・人形芝居があるが、その魅力を支えているのは、能面・人形といった美術品である。

30 以上もの能舞台が現存し、盛んに催されている佐渡の能。主役の役者がつける神秘的な能面は、佐渡の美術品の一つ。また、佐渡の説経人形・のろま人形・文弥人形の 3 種類の人形芝居は、国の重要無形民俗文化財に指定。新穂地区の広栄座に保管されている説経人形 6 体とのろまな人形 4 体、計 10 体の人形首は、県の有形民俗文化財に指定されている。

【交通アクセス】●シルバービレッジ・佐渡文弥人形：1 日 4 回上演（4 月～11 月毎日）。両津港より車で 30 分。入館料¥350（税込）TEL0259-52-3961 「新穂ふるさと祭り（開催日：8 月 14 日）」TEL0259-22-3111（佐渡市新穂支所地域振興課）

7 3 技能伝承展示館

相川町の無名異の里の近くにあり、伝統工芸である「無名異焼き」や「裂き織り」が体験できる施設であ

る。

相川地区の窯元が集まって始めた焼き物工房「無名異の里」に隣接し、相川地区の伝統工芸である「無名異焼」と「裂き織り」の制作体験ができる施設。用の美があふれる工芸品を大切に守り続けている相川地区ならではの施設で、見学することもできる。展示品にも興味をそえられるものが多い。

【交通アクセス】●技能伝承展示館：両津港より車で約 60 分。（8：30～17：00、休館日 12 月～2 月、土・日・祝）TEL 0259-74-4313 体験教室／●無名異焼：1 人 ¥1,600（税込）～ ●裂き織り：1 人 ¥2,400（税込）～

7 4 羽茂萬葉・連歌・俳句

昭和 34 年創刊。羽茂町の町民や、児童、生徒らが詠んだ、短歌、俳句、詩をまとめた町伝統の文集。現在 45 集目。

羽茂萬葉集は、羽茂地区の町民や児童、生徒らが詠んだ短歌・俳句・詩をまとめた冊子で、年に一度発行されてきた伝統ある文芸集である。町内外から作品を募集し、応募された作品すべてを掲載している。創刊は昭和 34 年で、歌を詠むことで子供たちの感性を磨き、やさしさを育てようと始まった。羽茂中学校の文芸部がはじめたガリ版刷りの萬葉集から数えて現在 45 集目。羽茂の輪をもっと広げたいという、地域の人々の心意気を感じられる。

7 5 桑原 義泰

土田麦僊の流れをくむ画家で、金井町の名誉町民。代表作品 「佐渡御陵の梅」。現在も势力的に活動中。桑原義泰画伯は、佐渡が誇る日本画家・土田麦僊の流れをくむ画家で、新興美術院理事として活躍した恩田耕作に師事した。かつての日本画にない迫力と力強さにあふれた構図が画風の特徴で、その作品の多くが受賞されている。作品には、佐渡の風景を題材にしたものが多く、代表作には「佐渡御陵の梅」、「日蓮慈悲の梅」、「日蓮星降りの梅」などがある。島内公共団体等への献画も多数あり、現在も精力的に創作活動を行っている。

7 6 （八幡）桐タンス

八幡タンスは、その昔小木町にて技法が伝わり、その後佐和田八幡に伝播。八幡の地で、古くより愛され、親しみ 続けられた佐渡伝統工芸品。

桐タンスの主産地である佐和田地区・八幡は、江戸の初め頃から桐木細工が盛んだった。八幡の桐タンスの技法は、安永年間に越後出雲崎の仏具師が来島し、小木地区でその技法を伝え、後に八幡にも伝授したことに始まる。八幡桐タンスの最盛期は明治中頃で、当時は販売店も数多くあったという。佐渡の伝統工芸であるこの桐タンスの技術を、現在は萩原家具店が受け継ぎ、守り続けている。

7 7 文学碑

佐渡には昔より多くの文人が訪れ、神秘の地佐渡を文学の題材にしてきた。現在、佐渡には多くの文人の句碑が残っている。（尾崎紅葉（写真）・長塚節・大町桂月・吉野秀男・萩原清井水 など）

佐渡には昔より多くに文人が訪れ、佐渡を文学の題材にしてきた。現在、明治 32 年に佐渡を訪れた尾崎紅葉の句碑のほか、明治 39 年に真野地区から小木地区を歩いた長塚節の文学碑、大正 13 年に来島した大町桂月が羽茂地区の菅原神社の能楽堂で残した名句の碑など、島内には多くの文人の文学碑が残っている。

7 8 無名異焼き

佐渡金鉱から取れる二酸化鉄と、沢根産粘土による陶土で焼かれた赤土の陶器。佐渡の美術工芸品である。

「無名異」とは、佐渡金鉱の石英岩欠裂箇所にて沈殿する二酸化鉄のことで、古来は止血薬や中風の薬として用いられたという。この無名異と沢根産粘土による陶土で焼かれた陶器が「無名異焼」。製造工程で、生磨きや焼成後の砂研磨という特殊な作業がある。製品は非常に硬く、叩くと澄んだ音がし、使い込むほど光沢をましていく。無名異焼の歴史は、明治になって三浦常山・伊藤赤水らが佐渡金山から取れる無名異を使った焼き物に成功すると、美術工芸品を主とする流れが生まれた。やがて常山・赤水窯から、相川地区を中心に無名異焼の窯元が増え、佐渡の産業として海外まで名を知られるようになった。現在、相川地区には 12 の窯元と人間国宝「伊藤赤水」の窯元もあり、無名異焼の里として広く知られている。

【交通アクセス】●陶芸苑：両津港より車で約 15 分。TEL0259-63-6116●玉堂窯元：¥2, 100（税込） 両津港より車で約 35 分。TEL0259-52-3222●技能伝承展示館：1 人¥1, 600（税込） 両津港より車で約 60 分。TEL0259-74-4313●体験宿 花の木：1 人¥2, 000（税込） 小木港より車で約 15 分。TEL0259-86-2331●無名異の里（8：00～17：00）：両津港より車で約 60 分。TEL0259-74-3280

7 9 佐渡版画村美術館

旧相川裁判所を利用した、版画専門の美術館。佐渡在住の会員達の作品 350 点ほど常時展示。

版画家・故高橋信一氏の佐渡版画運動の成果とについていい、全国でも珍しい美術館。佐渡版画村美術館は、旧相川裁判所の建物を利用して昭和 59 年に開館。版画家であると同時に優れた教育者でもあった高橋氏が、「佐渡を版画の島に」と、佐渡版画運動を展開。真野地区の「山の版画村」や相川地区の「海の版画村」をはじめ、島内各地に版画グループが生まれ、やがてそれらが結集して、佐渡版画村が誕生した。館内には、佐渡在住の会員たちの作品 350 点ほどを常時展示。会員はアマチュアだが、版画とは思えないほどカラフルで繊細な作品が多く、そのレベルの高さには定評がある。版画のモチーフは佐渡の自然や歴史が中心で、なによりも佐渡を愛する心が強く、見る者を感動させる作品が揃っている。

【交通アクセス】●佐渡版画村美術館：入館料¥400（税込）両津港より車で 60 分。（9：00～17：00、休館日 12 月～2 月）TEL0259-74-3931●体験教室／版画教室：1 人¥1, 500（税込）

8 0 日本アマチュア秀作美術館

日本で初めてのアマチュアを対象とした美術館。日本最大のアマチュア美術団体 サロン・デ・ボザール 展上位入賞の優秀作品展示。

その名の通り、アマチュアの作品のみを展示する、日本初、世界にも類を見ない美術館。国内の著名な政経文化人の作品をはじめ、全国各地で開かれたアマチュア美術展上位入賞作品、日本最大のアマチュア美

術団体サロン・デ・ボザール展上位入賞の優秀作品など、純粋なアマチュア作家の作品が展示されている。

日本画、版画、洋画、写真、彫刻、書などジャンルは多彩で、いずれのレベルも高い。名誉館長を務める俳優の森繁久彌の墨絵や、海部俊樹元首相の油絵、夏目漱石の墨絵、チャーチル元英国首相の油絵なども所蔵している。

【インフォメーション】施設／日本アマチュア秀作美術館（休館日 年末年始 8：30～17：00）¥400
（税込） 小木港より徒歩 5 分。TEL0259-86-3456

8 1 相川の祭り

7/25～27

「鉾山祭り」佐渡鉾山神事及びおけさ流しを中心としたパレードなどの行事

10/19

「相川祭り」(写真) 相川の総鎮守として奉行所の保護を受けてきた善知鳥大明神の例祭、法螺貝響く

【鉾山祭り】かつて金山で働く人々が中心となっていて行われた祭り。今も佐渡鉾山神事やおけさ流しを中心としたパレードなどの行事がある。【相川祭り】相川地区の総鎮守として奉行所の保護を受けてきた善知鳥神社の例祭で、法螺貝響く古式ゆかしい神輿の巡幸と提灯行列が行われる。

【開催日】●鉾山祭り：7月25日～27日 ●相川祭り：10月19日 会場／相川市街地【交通アクセス】両津港より車で約60分。TEL0259-74-3322（佐渡市相川支所地域振興課）

8 2 山王祭

4/14

新徳村 日吉神社7社による大祭で古式ゆたかな春祭り、鬼太鼓・やぶさめ・下り羽・みこし等、古事になった行事

日吉神社7社の神輿が集まって盛大に行われる、800年近い歴史をもつ古式ゆかしい春祭り。鬼太鼓・やぶさめ・下り羽・神輿など、古事になった行事が行われる。ここで舞われる鬼太鼓は、島内でもとりわけ勇壮、しかも優雅な舞として知られている。

【開催日】山王祭：4月14日（7：00～20：00） 会場／上新徳「日吉神社」【交通アクセス】両津港より車で約20分。TEL0259-22-3111（佐渡市新徳支所地域振興課）

8 3 羽茂の祭り

4/23

「一の宮祭り」佐渡一の宮度津神社例祭で、やぶさめ神事・つぶろさし・稚児舞・大獅子など

6/15

「羽茂まつり」草苅神社・菅原神社例祭で、太神楽・つぶろさし・鬼舞・屋台流し・おけさ流し・大獅子など草苅神社では薪能が奉納

【一の宮祭り】佐渡一の宮度津神社例祭で、やぶさめ神事・つぶろさし・稚児舞・大獅子など古式ゆかしい祭り。【羽茂まつり】草苅神社・菅原神社例祭で、太神楽・つぶろさし・鬼舞（県無形民俗）・屋台流し・おけさ流し・大獅子などが行われ、草苅神社では薪能が奉納される。

【開催日】●一の宮祭り：4月23日（8：00～15：00） 会場／飯岡「度津神社」【交通アクセス】小木港より車で約20分。●羽茂まつり：6月15日（10：00～22：00） 会場／羽茂本郷商店街【交通アクセス】小木港より車で約15分。TEL0259-88-3111（佐渡市羽茂支所地域振興課）

8 4 小木港祭り

8/28～30

たらい船競漕、小獅子舞、鬼太鼓、おけさ踊り、大ちょうちん、みこし渡御、大獅子舞、三尺玉の上がる花火大会

初代の佐渡奉行が海上安全祈願のため、木崎神社に米を寄進したのが始まり。佐渡三大祭りの一つで、フィナーレには佐渡唯一の三尺玉が夏の夜空を飾る花火大会が行われる。たらい舟競漕・小獅子舞・鬼太鼓・おけさ踊り・大ちょうちん・神輿渡御・大獅子など、盛りだくさんの行事がある。

【開催日】小木港祭り：8月28日～30日 会場／小木市街地 TEL0259-86-1113（小木港振興会）

8 5 稲鯨祭り

8/25

北野天神祭り、勇壮な神輿の渡御、夜8時に出発し一進一退を続けながら、夜が白むくまでかかって村はずれの御旅所まで行く。別名喧嘩祭り

稲鯨の鎮守、北野神社の祭礼。神輿の渡御は、各組ごとに手や腰に提灯を持った白装束の青年が神輿を担いで夜8時に出発し、もみあいながら一進一退を続け、夜が白むまでかかって村はずれの御旅所まで行く勇壮なもの。別名喧嘩祭りとも言われている。

【開催日】稲鯨祭り：8月25日（8：00～24：00） 会場／稲鯨「北野天神」【交通アクセス】両津港より車で約50分。TEL0259-74-3322（佐渡市相川支所地域振興課）

8 6 新保八幡宮祭り

4/15

金井の700年の歴史をもつ古式ゆかしい祭り。

鬼太鼓・やぶさめ・下り羽・みこし等、特にやぶさめが有名。

新保八幡宮例祭は、700年の歴史をもつ古式ゆかしい春祭り。境内に朝から市が立ち、4組の鬼太鼓が各戸をまわって悪魔祓いの舞を行う。15時から鬼太鼓が神社正面で乱舞し、その後に射手行列（やぶさめ・下り羽など）の神事が行われる。特に、やぶさめで知られている。

【開催日】新保八幡宮祭り：4月15日（9：00～17：00） 会場／北新保「八幡宮」【交通アクセス】両津港より車で約15分。TEL0259-63-5116（佐渡市観光商工課）

8 7 新町祭り

10/16

大神宮の大祭

「たかみ獅子」（40人も入って練り歩く大獅子で約8メートルもある）が町内を練り歩く。

大神宮の大祭で、どこが尾なのかわからないほどの大きな「たかみ獅子」（佐渡で前足・後足の二人組で舞う形から発展した40人も入って練り歩く巨大獅子で約8mもある）が町内を練り歩く。

【開催日】新町祭り：10月16日（8：30～18：00） 会場／真野新町「大神宮」【交通アクセス】両津港より車で約30分。TEL0259-55-3111（佐渡市真野支所地域振興課）

8 8 民話の里

「民話の里」ふるさとに語り継がれた民話を元に絵本の発刊・銅像・公園造成び村民による手造り民話劇の上演等専門の語り部もあり「出前語り部」で民話の世界を体験させる。「夕鶴の碑」の近くに、民話の館があり民話を体験する事ができます。

「民話の里」づくりが盛んな佐渡。鶴女房の民話をもとに作られた「夕鶴」で知られる相川地区の外海府もその 1 つで、北片辺には作者・木下順二の筆による碑がある。また赤泊地区では、絵本の発刊、銅像建立、公園造成、村民による手造り民話劇の上演などの他、専門の語り部による「出前語り部」で民話の世界を体験できる。

【インフォメーション】施設／●サンライズ城が浜：TEL 0259-87-3215●鶴女房：TEL 0259-77-2127
(4 月～11 月) ●潮津の里：TEL 0259-55-3311

8 9 羽黒神社祭り

両津市羽黒山の山腹、京極為兼も歌によんだ羽黒修験の古い神社の例祭 (3 年に 1 度行われる)、神輿の渡御、やぶさめ神事

両津地区・羽黒山の山腹にある、京極為兼も歌に詠んだ羽黒修験の古い神社の例祭で、3 年に 1 度行われる神輿の渡御、鎌倉時代からのやぶさめ神事(県無形民俗)が行われる。

【開催日】羽黒神社祭り：6 月 15 日 会場／羽吉「羽黒神社」【交通アクセス】両津港より車で約 25 分。
TEL 0259-27-2115 (佐渡市両津支所地域振興課)

9 0 久知八幡宮祭り

9/15

花笠踊り やぶさめ、11～12 歳の子供 14 人で下久知八幡宮境内に色とりどりの花笠が舞い、扇で早乙女姿になって舞う古式ゆかしい伝統行事。

花笠踊り(県無形民俗)を奉納する久知八幡宮の例祭。この花笠踊りは室町時代後期の田楽で、県の無形文化財に指定されている。久知八幡宮境内で、11～12 歳の男子 14 人が色とりどりの花笠をかぶり、扇で早乙女姿になって舞う古式ゆかしい伝統行事である。

【開催日】9 月 15 日(正午～15:00) 会場／久知八幡宮【交通アクセス】両津港より車で約 15 分。
TEL 0259-27-2115 (佐渡市両津支所地域振興課)

9 1 片野尾歌舞伎

旅回りの役者から伝承したという話が伝えられており、義太夫語りにあわせて上演。

村人が歌舞伎を演じる珍しい土地柄として知られる片野尾。旅回りの役者から伝承したという話が伝えられており、義太夫語りにあわせて上演する。本来、歌舞伎では三味線で伴奏すべき部分を、「チャクを入れる」という形で拍子木を使ってリズムをとる工夫があるところがこの歌舞伎の妙味。大人歌舞伎と子ども歌舞伎が年ごとに交代で演じられる。

【交通アクセス】両津港より車で約 30 分。【インフォメーション】片野尾歌舞伎保存会(不定期) 会場

／「片野尾小学校」

9 2 小獅子舞（9 種）

小獅子舞は鹿の頭をかぶり、腹に下げた太鼓を打ちながら三匹の小獅子がまうもので霧にまぎれた、児獅子・雌獅子を探すのが内容。前浜と海府海岸に多く分布している。小木町稲荷町、赤泊村杉野浦・新谷、両津市赤玉・城腰、相川南片辺・北川内・北田野浦等。

佐渡の獅子舞は、40 人で舞う巨大獅子から小獅子舞まで、各地でそれぞれ演じられている。小獅子舞は鹿の頭をかぶり、腹に下げた太鼓を打ちながら 3 匹の小獅子が舞うもので、霧にまぎれた雌獅子を探すという内容。両津地区・赤玉では「小鹿舞」と書いてコジシマイと言う。

9 3 大崎のちょぼくり

この芸は語らいと踊り手の二人によって伝えられるユーモアたっぷりの大道芸。

語らいと踊り手によって伝えられる、ユーモアたっぷりの大道芸。語らいは袴袴を着て語りながら、まな板を拍子木や火箸で叩く。踊り手はどんぶり笠に頬張り、破れ衣を着て股引の上に褌、草鞋をはいて、帯には徳利をぶらさげ、硬貨を入れた茶碗を右手に持って音を立てながら踊る。金をもらうのがうまい願人坊主の千代保久利加恵兵衛を真似たものだという。

【交通アクセス】小木港より車で約 20 分。TEL0259-88-3111（佐渡市羽茂支所地域振興課）

9 4 白刃

嘉永年間、千仏堂に住んだ羽茂出身の正覚坊が武芸の形に鬼太鼓の動きを組み合わせ、今日の形をつくったといわれる、熊野神社の祭礼に奉納される神事芸能。

相川地区・戸地で古くから行われている、佐渡でも有名な立ち回り。嘉永年間、千仏堂に住んだ羽茂地区出身の正覚坊が、武芸の形に鬼太鼓の動きを組み合わせ、今日の形をつくったといわれる、熊野神社の祭礼に奉納される神事芸能。演舞は他に類がなく、演技者の真剣さも魅力だ。

【開催日】白刃（神道土俗白刃）：10 月 19 日 会場／戸地（熊野神社）【交通アクセス】両津港より車で約 80 分。TEL0259-74-3322（佐渡市相川支所地域振興課）

9 5 佐渡の民謡

佐渡おけさ、小木おけさ、相川音頭、両津甚句、七浦甚句、豊田音頭、国仲音頭、港木遣り

「佐渡おけさ」おけさの元唄は九州のハイヤ節という酒もり唄といわれ、船乗りの手で小木地区に上陸して唄われている中に「おけさ節」となったもので、小木地区に入ったハイヤ節はハヤシと呼ばれ座敷唄から盆踊唄化し金山の選鉱場で唄われるようになってから「おけさ」と呼ばれた。この他にも佐渡には代表的民謡が多くある。

【インフォメーション】体験／●佐渡開館：おけさスクール（無料・4 月下旬～11 月 3 日まで）TEL0259-74-3322●両津観光協会：民謡踊り教室 1 人¥1,000（税込）TEL0259-23-3300

9 6 鬼太鼓

佐渡にしかない珍しい古典芸能で、島内各地にそれぞれ独自の様式で伝承されている。

佐渡にしかない珍しい古典芸能で、島内各地にそれぞれ独自の様式で伝承されている、唐散楽に似た獅子舞の一種で、勇壮な太鼓にあわせて鬼が舞うのでこの名がある。佐渡では「オンデコ」と呼ぶ。島内各地の祭礼には多く舞われる神事芸能である。

【交通アクセス】●鬼太鼓鑑賞（潮津の里）：講師料¥35,000（税込）TEL0259-55-3311●鬼太鼓教室：講師料 教室1回¥35,000（税込）TEL0259-23-3300

9 7 佐渡の人形芝居

佐渡の人形芝居 「説経人形・のろまん形・文弥人形」（国の重要無形文化財）乳人かしら・船若・雷電・神翁・ことわり人形・白太夫（説経人形）木之助・下の隠居・お花・仏師（のろまん形）計10個の人形首（県指定有形民俗文化財）

佐渡の人形芝居には「説経人形・のろまん形・文弥人形」の3つがあり、いずれも国の重要無形民俗文化財に指定されている。【説経人形】佐渡の庶民の娯楽として受け継がれてきた説経人形は、説経節の弾き語りに合わせて、裾から手を差し込んで使う突込式の人形を1人で操る。10曲近い演目があり、現在は新穂地区にある広栄堂だけが、昔ながらの伝統を守り伝えている。【のろまん形】説経人形の幕間狂言として行われるもので、佐渡へは享保の頃（1716～36）に入ってきたと考えられている。芝居は、間抜けで正直者の主役・木之助、人のよい下の長者、男好きのお花、食欲でずる賢い仏師の4人で構成され、狂言風に演じられる。【文弥人形】明治3年（1870）に、小木地区の説経人形使い大崎屋松之助と佐和田地区・沢根の文弥語り伊藤常磐一が、協力して作り出した人形芝居。哀調をあわせた古浄瑠璃にのって演じられ、典雅な趣があるが、人形は素朴な雰囲気。出し物は10曲ほどが伝承されている。

【イベント】佐渡人形芝居発表会：島内で人形芝居の保存運動を行っている10余りの座や研究グループによる発表会。（開催は毎年10月）TEL0259-63-5230（佐渡観光協会）【インフォメーション】体験／●シルバービレッジ・佐渡文弥人形：1日4回上演（4月～11月毎日）。両津港より車で30分。入館料：¥350（税込）TEL0259-52-3961

9 8 胴押し

両津市・月布施の毘沙門堂で行われる、25歳と42歳の厄年の男を胴上げする。景気づけに酒をのみ、灰神楽を立てたり柱を叩くなどして騒ぐ、裸押し合い祭り。

新年の3日夜、両津月布施の毘沙門堂で行われる勇壮な祭り。無病息災や五穀豊穰などを願い、下帯一枚になった男たちが、25歳と42歳の厄年の男を胴上げする。景気づけに酒をのみ、厄神楽を立てたり柱を叩いたりして騒ぐ、裸押し合い祭りである。

【開催日】1月3日 会場／月布施・毘沙門堂 TEL0259-27-2115（佐渡市両津支所地域振興課）

9 9 能楽（薪能）

佐渡には現在30以上の能舞台があり、そのほとんどが神社に付属したものであることから能が、神事

芸能として発展した。

佐渡は「鶯や十戸の村の能舞台」と詠まれたように、昔から能の盛んな土地。能の大成者・世阿弥が佐渡に配流にされたことと、能楽師出身の佐渡初代奉行大久保長安が能楽を奨励したことが大きく影響している。初めは奉行所の役人たちの教養としての能だったが、本間家が宝生座を開き、島内各地に門下生を得るようになると、次第に庶民へも広がっていった。佐渡には現在 30 以上もの能舞台があり、そのほとんどが神社に付属したものであることから、能が神事芸能として発展したことが窺える。島内各地の神社祭礼として今でも新能が奉納される。特に 6 月は薪能月間として 5 ヶ所で開催。両津・椎崎諏訪神社の薪能は、8 月を除く 5～10 月の第 1 土曜。

【インフォメーション】●椎崎諏訪神社能舞台：6 月第 1 土曜日 TEL0259-23-3300（佐渡観光総合案内所）●大膳神社能舞台：6 月第 1 日曜日●金井能楽堂：6 月第 2 日曜日（平成 17 年は 6 月 26 日。薪能ではありません）●牛尾神社能舞台：6 月 12 日●熊野神社能舞台：6 月第 3 日曜日●草苅神社能舞台：6 月 15 日 TEL0259-63-5230（佐渡観光協会）

100 お田植え神事

車田植え：奈良時代の田植え神事を残す全国でも唯一のもの。田起し踊り：元来は庄屋の田起し田植え時の慰労の席で踊り唄われた。田遊び神事：奈良時代から伝わるという豊作を祈る神事芸能。御田植神事：400 年以上の歴史をもつ豊作予祝の神事芸能。田遊び神事（写真）：モグラ・カラスなどが乱舞する豊作祈願の神事芸能。

【車田植え】奈良時代の田植え神事を残す全国でも唯一の農耕行事。畦の三方から田の中央に進んだ 3 人が、半束の苗を田の中心に寄り合わせるように植えた後、車状に外側へ後ずさりしながら、丸く順に植え付けていく。国指定重要無形民俗文化財。【田起し踊り】元来は庄屋の田起し田植え時の慰労の席で踊り唄われた。【田遊び神事・白山神社】苗代から田植えまでの農事の様を模擬的に演じ豊作を祈願する神事で、その年の厄年の人が厄払いを兼ねて出仕する。県の無形民俗文化財に指定されている。【御田植神事・五所神社】古来より五所神社に伝わる神事で、県の無形民俗文化財に指定されている。その年の五穀豊穡を祈り、田植えの様子を神前で演じる。神事は女人禁制。【田遊び神事・小比叡神社】カラスやモグラなどが乱舞する、演技的な面が強い豊作祈願の神事芸能。

【インフォメーション】●車田植え：5 月中旬 TEL0259-27-2115（佐渡市両津支所地域振興課）●田起し踊り：TEL0259-22-3111（佐渡市新穂支所地域振興課）●田遊び神事・白山神社：1 月 3 日 TEL0259-66-3111（佐渡市畑野支所地域振興課）●御田植神事・五所神社：2 月 6 日 TEL0259-87-3111（佐渡市赤泊支所地域振興課）●田遊び神事・小比叡神社：2 月 6 日 TEL0259-86-1113（佐渡市小木支所地域振興課）